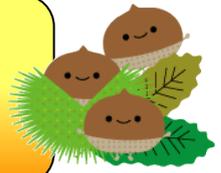


Happiness



大府市立大府中学校 第3学年 学年通信 令和元年10月31日(木)発行 第7号



二兎を追う者だけが、二兎を得る

自然の恐ろしさを改めて思い知らされた10月でした。台風や大雨で被災した地域の復興、傷ついた方々の身体と心の回復を願わずにはいられません。

大中フェスタには多くの保護者や地域の方々にご参観いただき、感謝申し上げます。学級発表で自分の役割を最後まで果たした人、ステージに立って華やかに演じた人、実行委員として企画・準備に尽力した人、最後の大中フェスタに取り組む3年生の姿勢はたいへん立派でした。満足感にあふれた気持ちが、生徒たちの笑顔や言葉によく表れていました。

また、進学説明会にもご出席いただき、ありがとうございました。多くの内容を説明させていただきましたので、資料等で不明な点がございましたら、担任を通してご相談ください。

さて、合唱祭週間に入り、練習は仕上げの段階に入りました。そして、進路を本格的に考える時期にもなっています。我々も生徒に寄り添って精一杯サポートしていきたいと思っています。“進路も思い出も両方手に入れる”ために！

11月

- 3日(日) 文化の日
- 4日(月) 振替休日
- 7日(木) 月1～5、木6
- 8日(金) 校内合唱祭
- 14日(木) 教育相談開始
- 15日(金) ⑥火災避難訓練
- 18日(月) テスト週間開始
- 22日(金) 火1～6
- 23日(土) 勤労感謝の日
- 25日(月) 第3回定期テスト
理・技家・音
- 26日(火) 英・国・保体
- 27日(水) 学・社・数
- 29日(金) ⑤⑥学校保健委員会

【12月の主な予定】

- 11日～13日 保護者懇談会
- 23日(月) 終業式

* 集金について *

11月の振替日は8日(金)です。

合計 12,000円

よろしく申し上げます。

合唱祭のお知らせ

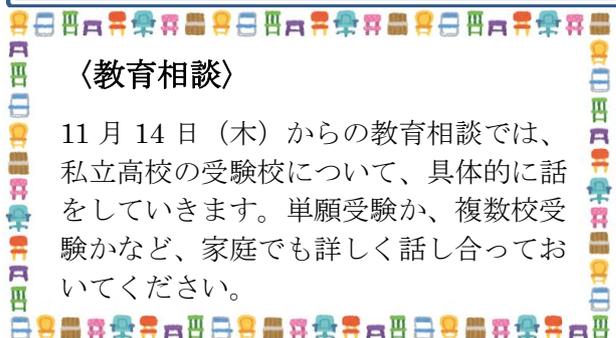
中学校生活最後の行事、合唱祭は11月8日(金)に行われます。どのクラスも最優秀賞目指して、練習に熱が入っています。ぜひ、お越してください。

学年合唱「大地讃頌」

- 1組「言葉にすれば」 2組「信じる」
- 3組「青鷺」 4組「ひとつの朝」
- 5組「虹」 6組「そのひとがうたうとき」
- 7組「ぜんぶ」 8組「予感」

〈教育相談〉

11月14日(木)からの教育相談では、私立高校の受験校について、具体的に話をしていきます。単願受験か、複数校受験かなど、家庭でも詳しく話し合っておいてください。



大中フェスタを終えて… Happiness より

<p>最高の大中フェスタ</p> <p>私にとって今回の大中フェスタは、今までで一番心に残るものでした。準備から当日の流れまで、学級委員を中心にクラスのみならず協力して、こんなにやる気がある行動できるクラスってすごいなと感じたほどです。私は今まで大中フェスタ準備では、指示されたことしか仕事をしませんでした。めんどくさいことはみんなで押し付け合って、言い合いになって…この繰り返しでした。しかしこのクラスは、自分から積極的に仕事を見つけて、大変な仕事をやる時でも嫌な顔せず、楽しんでいました。本番で多くの人が行列をつくっているところを見たとき、準備で1人1人ががんばっていたからこそ、最高の中フェスタがくれるんだなと思いました。(1組 今村紗也佳)</p>	<p>また新しい大中フェスタ</p> <p>僕はもう3年生で、自分の中ではまた同じような期間が始まると思っていました。しかし、3年2組は僕にまた新しい手ごたえと仲間の「和」というものを与えてくれました。</p> <p>大中フェスタは特別な行事で、日々の疲れがまるで消え去ったかのように、どれだけ作業していても疲れません。僕の重心を引っ張り出してくれるような、それがかつ友達のやさしさに気付かせてくれるような大中フェスタは最高の行事です。クラスのみならずには助けられてばかりで、感謝しきれません。(2組 伊藤颯良)</p>
<p>招き猫作成</p> <p>私は大中フェスタの中でも、準備が一番楽しんだと思う。僕たちの班は小道具や回転台など“水曜日のダウンタウン”に出てくるスタジオの再現を担った。特に招き猫は作りがいがあった。当初はスタジオ通り、左右対称のペアをつくる予定だったが、時間がなく断念した。それでも、私の背まで届く招き猫をつくるのは楽しかった。私は今まで、ペーパークラフトでも小さい模型ばかりをつくっており、巨大なものをつくることに新鮮味を感じたからだと思う。今回の招き猫の作成で今まで以上に友達と協力し合い、理解を深められたと思う。今回のフェスタは今までで最高に楽しかった。(3組 下田琢人)</p>	<p>ありがとう</p> <p>今年のフェスタは私にとって大きな意味をもつ大切な行事でした。1年前のフェスタが終わったあの日から、今日まで必死につないできた「生徒会長」というバトンを次につなぐ時がきたのです。夏休みからがんばったオープニング動画、議員のダンス、生徒会企画、そしてエンディングのどれをやっているときも本当に楽しかったです。それを見ている大中学生の笑い声やどよめきを聞くだけで「今までがんばってよかった」と心から思えました。</p> <p>私は今、私を信じて支えてくれた全ての人にとっても感謝しています。この1年半で私はたくさんのことを学び成長することができました。本当にありがとうございました。(4組 山田陽菜)</p>
<p>最後の大中フェスタ</p> <p>私たちは担任が理科の新美先生だったこともあって、理科実験教室をやりました。4つのブースに分けて、各ブースごとが自分たちの仕事と外装やおみくじなどのブースの仕事を受け持つことは、とても大変でした。お客さんに楽しんでもらうための工夫を考えたり、飾りのデザインで悩んだり、時には同じブースの子たちともめてしまうこともありましたが、たくさん話し合いを重ね、さらに良い案を見つけることもありました。当日は、私が総司会や放送委員だったこともあり、一日中とてもドタバタしていました。教室発表はというと、私が思っていたよりたくさんの方がクラスに足を運んでくれていました。途中で紙コップが足らなくなったりするなどのハプニングもありましたが、忙しくも3年間の中で一番やりがいを感じることでできた大中フェスタでした。(7組 澤田幸歩)</p>	<p>1人1人が主役に</p> <p>私たち3年生は、今年のフェスタが最後のフェスタとなってしまいました。準備の時、1、2年生のころのように指示待ちをしているのではなく、自分たちで指示を出し合い、協力しました。3年生だからこそ、これまでの経験を生かして「ここ、もっとこうした方がいいんじゃない?」「これ準備しよう!」などと、生徒が主体となって動けたと思います。そして、絵の得意な人は絵を描き、裁縫のできる人は衣装を作り、字の上手な人はクラスの看板で活躍をし、ユーモアあふれる人は発表で役を演じたりと、1人1人の持っている個性という武器がキラッと輝いたフェスタとなりました。傍観者ではなく、1人1人が何かしらのところで携わっていると思うと、このフェスタはみんなで作り上げたものだと感動しました。合唱祭も頑張ります。(6組 山崎歌純)</p>
<p>学級発表を通して</p> <p>私は学級発表で劇の大道具を作りました。裏方はキャストのようにセリフを覚えたり、演技をしないので、そこまで大変ではないイメージがありました。しかし、練習を重ねるうちにそのイメージはだんだん変わっていききました。舞台のセット、メイク、衣装、効果音、光、そしてキャスト、すべてがそろって初めて劇が完成し、キャストを輝かせるのは裏方にもかかっていることに気付きました。本番は大きなトラブルがなく、成功したので本当に良かったです。(5組 松尾風歌)</p>	<p>最後の大中フェスタ</p> <p>僕が今回の大中フェスタで感じたことは、人と話すことがどれだけおもしろいかということです。クラス発表をするときには、必ずクラスメイトと話さなければなりません。その中で必ずと言っていいほど、対立が起こります。それを話し合いで決定する間に話したことがない人と話すのもおもしろいと感じました。今までは同じ友達とよく話していましたが、この大中フェスタを終えて、これからはもっと人と話して行って、友達を増やし、残りの半年を最高の思い出にしたいです。(8組 越 大空)</p>

